

三菱自動車、大阪・関西万博での救急搬送用車両として『ミニキャブEV』を納車

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）（以下、博覧会、開催期間：4月13日～10月13日）の救急搬送用車両として、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に寄贈したワンボックスタイプの軽商用電気自動車『ミニキャブEV』2台を納車しました。



救急搬送用車両は、万博会場内でけが人や体調不良による傷病者が発生した際の搬送用として使用されることに加え、会場内の医療救護施設から医療チーム（医師、看護師、救急救命士）が同車で駆け付け応急措置にあたることも可能です。

博覧会終了後は2025年日本国際博覧会協会から大阪府の大阪南消防局と茨木市消防本部へ再譲渡の上、救急搬送用車両として活用される予定です。

軽商用電気自動車による救急搬送用の車両は、通常の大きな救急車では通ることが困難な狭い道も走行できることで搬送時間の短縮や救命率を高めることが期待できます。また、電池パックを車体床下中央に配置することで、低重心による優れた操縦安定性を実現する電気自動車の特長を生かして、傷病者の負担を軽減しながら搬送することができます。

三菱自動車はこれからも、電動車の活用によって地域の皆様の安全・安心に貢献できるよう取り組んでまいります。

以 上